

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ふあみーゆ中百舌鳥 新築工	階数	地上13F
建設地	大阪府堺市北区長曾根町3083番14	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、近隣商業地域、準	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年6月17日
敷地面積	1,366 m <sup>2</sup>	作成者	高橋幸治
建築面積	801 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月10日
延床面積	3,332 m <sup>2</sup>	確認者	高橋幸治



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 緑地に中高木をバランスよく植栽することにより、周辺環境との調和を目指した。 また、居住者同線と店舗同線を分離し、居住者の防犯性に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 遮音性能を高め、生活音が漏れにくい製品を採用している。 また、建築材料をほぼ全面的に汚染物質の少ない製品を採用し室内の空気に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を高く設定している。 内装・仕上げにおいては、維持管理に配慮して取り組みをしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽により、良好な景観を形成することで周辺環境に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁面に発砲硬質ウレタンフォームを施す等、外皮の断熱性を高めるなどし、省エネルギーに配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水仕様の便器を採用し、節水に取り組む汚染物質の含有が少ない製品の採用	<b>LR3 敷地外環境</b> 低Nox型のガス給湯器を採用し汚染物質の抑制を抑えている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)ふあみ一ゆ中百舌鳥 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	北区長曾根町3083番12の一部、3083番13の一部、3083番14～17	0.8	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 3,331.78 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	4	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.1	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値		3.0
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.8	4	
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.2	4	
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3	
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		2.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		3.0
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	2.2	—	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	